

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳牧場	所管課	畜産課
所在地	本場:山梨県北杜市小淵沢町大平10016 天女山分場:山梨県北杜市大泉町西井出8240	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県子牛育成協会、平成23年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場の設置及び管理条例 山梨県立八ヶ岳牧場の設置及び管理条例施行規則		
設置目的	I 受託放牧 本県畜産振興に寄与するため、農家家畜を受託放牧すること。 II 県有肉用牛の改良増殖 本県肉用牛生産を振興するため、県有牛を改良増殖し、繁殖素牛・肥育素牛を供給すること。		
主な施設内容 (定員等)	事務所、看視舎、分娩牛舎、追込牛舎、ほ育牛舎、育成牛舎、乾草庫、たい肥舎、たい肥処理棟、スラリートンク、農機具庫等		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 ○牧草の栽培に関する業務 ○家畜排せつ物のたい肥化に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	なし
-------------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
受託頭数	受託頭数	99,353	108,916	112,491	
	受託頭数合計	99,353	108,916	112,491	
	目標値	120,000	120,000	110,000	110,000
	目標値設定の考え方	牧場の施設能力の最大値である年間延べ頭数で設定。	牧場の施設能力の最大値である年間延べ頭数で設定。	過去5年間の平均受託頭数で設定	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数
	対21年度比	100.0%	109.6%	113.2%	110.7%

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	41,167,400	40,632,000	42,113,650	40,632,000
	指定管理者委託料	190,367,200	188,664,000	188,664,000	188,603,000
	その他	3,381,658			
	収入合計(A)	234,916,258	229,296,000	230,777,650	229,235,000
支出	人件費	146,593,111	143,073,000	140,452,506	143,484,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	88,020,965	86,223,000	86,515,780	85,751,000
	(うち外部委託費)(B)	1,825,785	1,889,000	1,867,061	2,245,865
	支出合計(C)	234,614,076	229,296,000	226,968,286	229,235,000
収支差額(A-C)		302,182	0	3,809,364	0
外部委託比率(B÷C)		0.8%	0.8%	0.8%	1.0%
利用者一人当りの経費		1,748	1,715	1,677	1,715

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年5月～6月 実施方法:平成23年度の預託利用者及び売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り調査) 回答数:45件
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
家畜の受託に対する満足度	97.9%	0.0%	2.2%	—
県有家畜の売却に対する満足度	87.5%	0.0%	12.5%	—
堆肥の売却に対する満足度	89.7%	8.0%	2.3%	—
総合評価	89.5%	7.3%	3.3%	—

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	○乳頭腫の撲滅 ○育成雌牛の発育向上
利用者の意見への対応	○日常の飼養管理の徹底により、乳頭腫の重症事例は減少した。 ○血統と育種価を考慮して県有牛の一層の改良を進めるとともに、良質な粗飼料給与や飼養管理技術の向上により、個体差を少なくし全体のレベルアップを図っている。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	車両・農機具の保安全管理や牧場内の保安・警備に努めた。 車両等の修理は出来る限り自前で対応し修繕費用の節約に努めた。	引き続き、適切な管理を徹底し、修繕等が必要な箇所については、予算の範囲内で補修工事等を実施すること。また、家畜、従事者及び来場者に事故等が発生することがないように、保安・警備を徹底すること。
運營業務	優良種雄牛の交配に努め、生産子牛を計画以上に売却した(計画:130頭 売却148頭)。 家畜の受託延頭数は計画の102%で増加したが、今後もさらなる利用頭数の拡大に努める。 牧草ロールの生産数は計画量の70%であり、草地更新及び獣害対策が必要である。 農家巡回調査指導業務、家畜改良増殖業務を適正に実施した。 堆肥販売量は計画の122%であった。	引き続き、県有家畜及び農家からの受託家畜の適正な飼養管理に努め、売却頭数の確保に努めること。 年間目標受託頭数は確保できているが、さらなる利用頭数拡大に努めること。 獣害対策等の実施により牧草の生産量拡大を図ること。 引き続き、農家巡回調査指導業務、家畜改良増殖業務の適正な実施に努めること。 堆肥販売については、引き続き迅速な対応に努めるとともに、利用農家拡大に努めること。
自主事業		
利用状況	県内の飼養戸数・頭数の減少傾向の中で、冬期受入頭数の拡大・中途入牧の積極的な受入等、受託の推進を図り、延頭数は計画を上回った。今後も積極的にPR活動を行い、新規利用者の開拓等により、利用頭数の確保に努める。	引き続き、積極的なPR活動を行い、夏期の利用頭数増加を図り、年間受託家畜利用延べ目標頭数を確保するよう努めること。
収支状況	計画を上回る利用料が確保できたことにより、収入は計画を上回った。また、諸経費の削減に努め、支出は計画内であった。生じた利益については公益財団法人には収支相償が求められていることから次年度に有効活用したい。	引き続き、利用料の確保と支出削減に努めること。生じた利益については有効活用を図ること。
利用者満足度	利用者からは乳頭腫の撲滅、受胎率・売却牛資質の向上等、より高いレベルが求められており、善良管理と更なる技術力向上に努め、満足度を一層高めていきたい。 冬期預託の受入頭数拡大や繁殖基礎牛の外部導入等については、利用者の要望に応えるべく、県との協議を進めていきたい。	利用者からは概ね高い満足度が得られているが、引き続き、利用農家の要望にそえるよう対応に努めること。
運営目標の達成状況	○年間利用延べ頭数は目標値の102%となり、目標を超えることができた。今後、夏季の利用頭数増加等により、年間利用延べ頭数の更なる向上が可能である。 ○県有牛の売却頭数は目標の年間130頭を超えることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○各種業務は適正に実施されており、利用者の満足度も概ね良好であったことから、高く評価できる。 ○受託家畜の乳頭腫の撲滅や受胎率の向上等、利用農家の要望にそえるよう管理の改善等に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○夏期利用の推進により、年間利用延べ頭数の拡大に努める。 ・農家への「ハヶ岳牧場利用のメリット」の周知・PRの徹底、新規利用農家の開拓。 ・受精卵移植等の繁殖管理に対するサービス強化、利用メリットの向上。 ・入退牧牛の運搬体制整備。 ・意識調査により、利用者ニーズを把握し、次年度に反映させる。 ○分娩間隔の短縮等により売却頭数増加を図る。 ・発育向上による初産月齢の短縮や受胎率の増加に努め、生産性の向上を図る。	

7. 管理体制(組織図)

